



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	24,103.11	254.69	1.07	2.42	-2.49	24,719.22
NASDAQ	7,063.45	114.22	1.64	1.01	2.32	6,903.39
日経225	21,454.30	295.22	1.40	4.06	-5.76	22,764.94
上海総合	3,168.90	8.37	0.26	0.51	-4.18	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,898.50	4.45	0.11	-0.16	-3.28	4,030.86
ハンセン	30,093.38	70.85	0.24	-0.71	0.58	29,919.15
中国企業	11,998.34	-2.82	-0.02	-1.07	2.47	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.7%安と続落、上海総合指数は0.5%高

香港市場は30日が休場のため4日間の取引。ハンセン指数は4日間で0.7%安と続落した。米中貿易戦争に対する過度の警戒感が後退したことで週前半は堅調に推移したが、IT・ハイテク関連株の下落が相場の重しとなった。ハンセン指数は29日に一時節目の30000ポイントを割り込む場面もあった。本土市場では上海総合指数が週間で0.5%高と3週ぶりに反発。週初は軟調なスタートとなったが、米中貿易戦争や北朝鮮を巡る地政学リスクの後退、増徴の引き下げ決定などを支援材料に持ち直した。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、米中貿易戦争への過度の警戒感が後退

香港市場は堅調な展開か。2日と5日が休場のため3日間の取引となるが、米中貿易戦争への過度の警戒感や北朝鮮を巡る地政学リスクの後退で投資家心理が改善。31日に発表された中国の製造業PMIが市場予想を大きく上回ったことも追い風となりそうだ。一方、本土市場も5日から清明節の連休入りのため、香港と同様に3日間の取引。ニューエコノミー企業の上場に関する指導意見が発表されたことで、海外上場のIT企業の本土回帰やユニコーン企業の上場への期待が高まる公算が大きく、堅調な展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業(02319)	26.90	13.26
2 ファイブ・コム(00762)	9.90	5.66
3 シノック(00386)	6.89	4.55
4 碧桂園(02007)	16.16	3.99
5 銀河娛樂(00027)	71.25	2.22
6 恒安国際集団(01044)	72.70	1.68
7 ファイブ・モバイル(00941)	71.95	1.62
8 中国工商银行(01398)	6.73	1.20
9 サウス・ファイブ(01928)	42.20	0.72
10 AIAグループ(01299)	66.40	0.53

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 万洲国際(00288)	8.36	-7.42
2 吉利汽車(00175)	22.60	-6.22
3 中国平安保険(02318)	79.80	-5.51
4 舜宇光学科技(02382)	144.90	-4.48
5 東亜銀行(00023)	31.30	-3.84
6 中国神華能源(01088)	19.50	-3.70
7 恒隆地産(00101)	18.28	-3.48
8 招商局港口(00144)	17.30	-2.81
9 瑞声科技(02018)	141.60	-2.75
10 中国人寿保険(02628)	21.60	-2.48

▼今週の主なイベント

- 4月2日(月)
- 【香港】イースターマンデーで休場
- 4月5日(木)
- 【香港】清明節で休場
- 【中国】清明節で休場(~6日)

▼今週の期待材料

- ◆31日発表の3月の中国製造業PMIは前月の50.3を上回る51.5、市場予想の50.6からも大幅に上振れ
- ◆中国企業の17年本決算が好調、26日までに発表した比較可能な1131柄の純利益は前年比21%増
- ◆米中貿易戦争回避に向け米中が水面下で交渉を開始、貿易戦争回避で具体的進展があれば買い戻しも

▼今週の懸念材料

- ◆米中貿易戦争に対する警戒感がくすぶる公算、中国が米国製品128品目に対して報復関税を発動
- ◆先週の公開市場操作で差し引き1600億円の資金を市場から吸収、3月の吸収額は5100億元に拡大
- ◆6日に3月の米雇用統計発表、米利上げを巡る思惑で週末にかけて手控えムードが強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中国中鉄(00390):23件の大口受注獲得を発表、総額335億元で17年売上高の4.9%
- ☆ 大唐国際発電(00991):17年本決算は前年の特損剥落で黒字転換、発電量は15%増
- ☆ シノペック石油工程技术服務(01033):18年1-3月期決算は黒字転換の見通し
- ☆ 長江実業集団(01113):香港の住宅価格指標CCLが過去最高値を更新
- ☆ 中国建材(03323):親会社の経営統合に伴い同業の中国中材を吸収合併
- ☆ 中国民生銀行(01988):17年本決算は4%増益、市場予想上回る
- ☆ 広州汽車集団(02238):18年販売目標を10%増の230万台に設定、20年に300万台
- ☆ ウェイチャイ・パワー(02338):18年1-3月期決算は50-80%増益の見通し
- ★ 中国高速伝動(00658):17年本決算は風力発電設備の販売低迷で59%減益
- ★ BYD(01211):18年1-3月期決算は75-92%減益の見通し、補助金削減が痛手に

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。